

後藤未雄 いとう 小説家、フランク人文學者、文學博士。明治十九年十月
二十一日東京生れ、昭和四十一年十一月十日歿（八六一―九六七）。筆名
すゑまき、藤原未雄。第一高等學校を経て、大正二年東京帝國大學文料
大學佛文科卒。在學中、谷崎潤一郎等と第二次「新思潮」を創刊し、諸
誌の小説を發表し、のち渡邊長雄に大學教授とほり創作を離れる。
譯著書、バニエ作「古都情話」（譯、大正二年二月十八日春陽
堂「現代文藝叢書」）、ピエール・ロチ作「郷愁（守備兵の話）」（譯
大正二年六月）二十四日新潮社「近代名著文庫」、ドオデエ著「佛
戰話」（譯、大正二年十月十六日新潮社「新潮文庫」）、近代佛蘭西
文學」（大正二年十一月十八日石川文榮堂）、モオパッサン（永
井荷風共著、大正四年六月十五日實業之日本社「近代文豪評傳」）、
ズチエ作「戀と死（トリスタンとイゾルデ）」（譯、大正六年十一月
二十八日新潮社「エルネステ叢書」）、小説作法及文範（大正七
年九月十八日新潮社「新文章作法文範叢書」）、ドイグエ著「巴里の
二十年」（譯、大正八年八月二十日新潮社「人と藝術叢書」）、小説
の「（公著・親佛文藝會編、大正十二年十一月二十五日改造社）、
『佛文和譯研究』（昭和五年八月一日都文堂書店）、『佛蘭西精神史
の一側面』（昭和九年二月十日第一書房）、パリエツケ著『儒教大觀』
（譯、昭和十年五月十日第一書房）、『東西の文化流通』（昭和十二
年九月二十日第一書房）、『フランク人短篇小説集』（共譯、一（エー
ギー）からボオド（エ）まで）・昭和十四年二月二十日、二（ゾラ）から
現代へ）・十五年十月十五日富山房「富山房百科文庫」、隨筆『生
活と心境』（昭和十四年十一月二十五日第一書房）、『パスカル篇』

(昭和十五年)二月、千白第一書房「世界大思想家選集」、
「支那四千年史」(昭和十五年十一月五日第一書房「戰時體制版」)、
「グーゼ」著「康煕帝傳」(譯、昭和十六年五月、千白生活社)、
「支那文化叢書」(合著・除村一學編、昭和十七年六月、千白各取書店)、
「日本的人生觀」(合著・大島豐編、昭和十七年十月、千白文憲堂)、
「乾隆帝傳」(昭和十七年十月、千白生活社)、
「藝術の支那・科學の支那」(昭和十七年十月、千白第一書房)、
「科學と文學」(昭和十八年四月、千白千歲書房)、
「ゴッホと日本美術」(昭和十八年十一月、千白北光書房)、
「日本・支那・西洋」(再版、昭和十九年五月、千白生活社)、
「自由主義と民主主義の語」(昭和二十年十一月、千白生活社)、
「パスカルの觀於人間」(昭和二十一年二月、千白生活社「日本叢書」)、
「パスカル著、パンセと小品」(譯、昭和二十二年八月、千白北隆館)、
「句集『柳絮』」(昭和四十六年十一月十日、後藤正方子編輯)等。